



社会教育センター(仮)の完成

町民総参加の

百周年記念事業を

新年

おめでとう

ございます

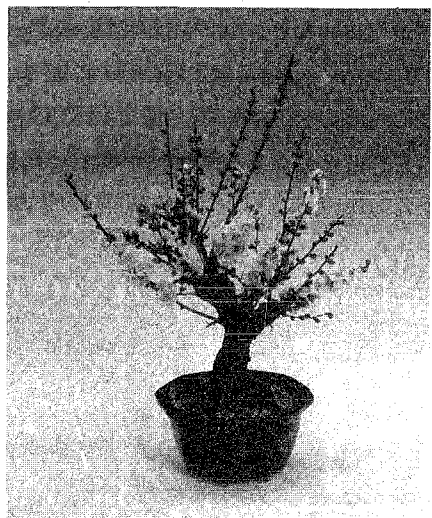
小須戸町長

轡田奈賀雄

平年庚午の新春を迎え

今年も宜しく

お願い致します



平成二年、平年、庚午の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げたい。新年になることを心からお祈り申し上げます。

過ぎた一年を振り返ってみます。内外ともに激動の一年でありました。しかも何を期して、一月七日昭和天皇の崩御、新年号を「平成」と決定翌八日から施行され、昭和の時代は終り、平成時代に移行し我々日本国民にとって歴史の一頁に刻まれる忘れることの出来ない年でありました。また税制問題、急速な高令化の進展、それに伴う福祉の対応、参議院議員選挙の結果による政局の問題等々、重要問題が山積した年でありました。世界の経済大国となつて二十一世紀へ向けての役割を果たさなければならぬ責任がある国として

地方財政においても、昭和五十年以降の大幅な収支不足に對する補填措置等により、地方債及び地方交付税特別会計の借入金の高額が累積し、平成元年の見込みで、総計六六兆円を越える巨額の借入金を抱え、その償還が大きな負担となつており、国と同様、行財政改革の一層の推進が急務となつて

当町の財政は、昭和六〇年度からの国庫補助負担率の引き下げ措置等の影響により、大量の町債の発行を余儀なくされ、平成元年度末の町債残高見込は、二十七億二千万円程度にものぼるなど、極めて厳しい財政環境に置かれています。

平成二年度の当町の財政の見通しについては、求年度の経済見通しをはじめ、国の予算編成の動向、地方財政計画の内容等が明らかでないため、現時点では的確に予測することは困難であるが、歳入面では国庫補助負担率還元問題は予断を許さない状況にあり、地方税財源措置を盛り込んだ税制改革の行方についても不透明な要素があるため町税の大幅な伸びは期待できないところであり、

更に歳出面においては、人件費、公債費等の義務的経費は確実に増加するほか、下水道会計、老人保健特別会計、国民健康保険特別会計への助成を抱え、財政事情は依然として厳しい状況が続くものと予想されます。

このような状況において、平成二年度当初予算の編成は健全

恵まれた美しい自然と

花と緑を愛しより豊かで

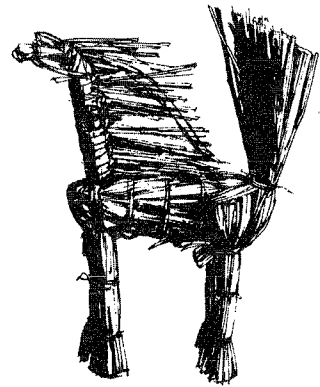
①億 明るく住みよい郷土を!!

小須戸町ふるさと創生検討委員会が答申

財政の確保に努めることを基本として、町税等歳入確保に取り組みと共に、事務事業、行政機構の全般的見直しに加え、更に既存の制度施策の徹底した見直し、及び優先順位の厳しい選択により歳出の抑制を図り、地域経済活性化対策など、社会経済情勢の推移に即応した、真に必要な施策への重点的効率的配分に積極的に努めると共に、内需拡大の要請に応え、社会資本の積極的整備に努めることを方針として編成する。

主要なものは概次の通りであります。

- 社会教育センター建設事業
- 矢代田小学校西側高台に多目的ホール及び研修施設
- 町営住宅建設事業



ふるさと創生事業
大規模開発事業
住宅、企業団地開発
小須戸橋歩道橋建設事業及び小須戸橋改築事業
街路事業
下水道事業
農村総合整備モデル事業
水田農業確立対策後期事業
教員住宅建設事業
町制施行百周年記念事業
町民総参加により、百周年記念にふさわしい式典と、各種イベントを計画実施する。

- ふるさと創生事業
- 大規模開発事業
- 住宅、企業団地開発
- 小須戸橋歩道橋建設事業及び小須戸橋改築事業
- 街路事業
- 下水道事業
- 農村総合整備モデル事業
- 水田農業確立対策後期事業
- 教員住宅建設事業
- 町制施行百周年記念事業

以上、所信の一端を申し上げ併せて、町民皆様のご健康とご多幸を祈念し、町発展の爲め一層のご協力をお願いし、年頭のごあいさつといたします。

ふるさと創生検討委員会(委員長 岡田六衛 委員十四名)は「ふるさと創生」一億円の使途について町民から寄せられた一二九件のアイデアを基に七回に亘る委員会を開催し去る十二月八日町長に答申がありました。

や公園に恵まれていない。今後二十一世紀に向けた住民意識動向は物質的需要が充足され、やがて、自己の健康と精神的満足感や心の豊かさを求める時代へと移行するものと思われ、今回の創生アイデア応募においても、花と緑に伴うアイデア提起が最も多く、検討委員会としても慎重審議の結果、小須戸橋右岸上流の河川敷地を有効活用している屋内運動場のほか、町民に利用されておりますが、その他の跡地はほとんど有効活用されていないのが現状であります。

化会館の建設と数百台収容できる駐車場の備えた施設が必要であるとの結論に達しました。よって、ふるさと創生基金を起爆剤として、長期計画に基づく施設の建設整備計画と建設実行に努力されたい。

(付記) 恵まれた自然環境で健康やかな心と身体を育てる遊歩道と公園の整備について

当町においては、生活環境の整備や住民と密接な施設については充実され、一般の道路や水路は良くなりました。山あり、川あり、平野ありの恵まれた自然環境の中で生活できる私たちは喜びとするところであります。

小須戸町の先人が歩いたと言われる仏路越、標高二四八mの眺望豊かな菩提寺山の自然を中心とした観光コースが完成できたら素晴らしいものであり検討委員会において整備促進を図るよう意見の一致をみたのでその実現に努力されたい。

一、信濃川河川敷の美化開発整備について
私たち、小須戸町の住民は、美しい自然と、花と緑を愛し、より豊かで明るく住みよい郷土をつくるため、昭和五十五年十月二十二日「花と緑の町」を宣言し、推進協議会が設置され、花と緑の事業に取り組んで来たところであり、町民の花と緑に対する意識の高揚と他市町村及び県外についても一層効果的に宣伝を行っていることは賞賛に値する。然し乍ら町全体を眺めるとき、地域住民は花と緑の人間のぬくもりと豊かさをイメージ

二、小須戸小学校跡地を有効活用した産業文化施設の建設について
現在当町では学校を始め、公園

二、小須戸小学校跡地を有効活用した産業文化施設の建設について
現在当町では学校を始め、公園